

再評価結果（平成 17 年度 事業継続 箇所）

担当課：  
担当課長名：

事業名	一般国道 105 号（米内沢バイパス）		事業区分	国道	事業主体	秋田県
起終点	自：秋田県北秋田市寄延 至：秋田県北秋田市松栄				延長	3.6 km
事業概要	国道 105 号は、由利本荘市を起点として大仙市、仙北市を経て北秋田市に至る幹線道路で、県南海岸部から県北内陸部へ縦断し、産業、経済の文化交流を支える重要な路線であるとともに八幡平、阿仁等の主要な観光拠点が存在する。当該区間は、隘路区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに良好な市街地形成を図るべく事業を進めている。					
H 3 年度事業化	H 7 年度都市計画決定 （H - 年度変更）	H 3 年度用地着手	H 10 年度工事着手			
全体事業費	約 55 億円	事業進捗率	約 93 %	供用済延長	1.8 km	
計画交通量	約 8,800 台/日					
費用対効果分析結果	B / C （事業全体） 2.9 （残事業） 3.8	総費用 （残事業）/（事業全体） 36/70 億円 事業費：33/65 億円 維持管理費：3/5 億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 135/200 億円 走行時間短縮便益：132/196 億円 走行費用減少便益：3/4 億円 交通事故減少便益：0/0 億円	基準年 平成 17 年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.1(交通量+10%) B/C=3.4(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.5(事業費+10%) B/C=4.1(事業費-10%)					
事業の効果等	・道路の防災対策・危機管理の充実・・・緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある。（第 2 次緊急輸送道路） ・地域づくりの支援・・・H 1 9 秋田わか杉国体の支援。 市町村合併支援道路に位置づけがある。 ・物流の効率化の支援・・・大館能代空港へのアクセス強化。					
関係する地方公共団体等の意見	旧森吉町より早期整備促進の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成 10 年に大館能代空港が開港し交通需要が高まっている。また、市町村合併により域内流動が活性化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに 1.8 km を供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き工事を進め、平成 18 年度全線供用を目標に事業を進めている。					
施設の構造や工法の変更等	舗装構造の見直し及び植樹帯の見直しによりコスト縮減を実施。					
対応方針						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。